

平成21年度山梨県環境整備センター施設点検状況 (平成21年6月分)

1. 施設点検状況

点検項目	点検年月日	点検結果
擁壁（貯留構造物）	毎日（土日祝日を除く）	異常なし
遮水工	毎日（土日祝日を除く）	異常あり
浸出液処理設備	毎日（土日祝日を除く）	異常なし

2. 措置状況

異常発生年月日	措置年月日	点検項目	異常の状況	措置内容
平成21年6月1日	平成21年6月11日	遮水工	貯留構造物埋立地方向への引っ張りにより、遮光性不織布が止め具から脱落するおそれあり。	止め具を一旦外したうえで、既存の遮光性不織布の上にもう1枚遮光性不織布を重ねトーチ溶着することにより補強後、再度止め金具を設置した。
平成21年6月2日	平成21年6月11日	遮水工	遮光性不織布の下部で滞水しているような兆候が確認された。（状況から、上層遮水シートと下層遮水シート間の滞水ではないかと想定されるが、さらなる確認が必要）	追加点検を実施したところ計5か所において同様の状況が確認された。 工事施工時の状況等から、施工中に上層遮水シートと下層遮水シート間に残存し拡散していた雨水等が、埋立に伴う各種荷重の作用により局所的に集中し、滞水したものであると判断された。 これに基づく目視確認を行うため、滞水量が多い4か所において上層遮水シートを部分的に切開し、滞水を除去するとともに内部の状況を確認した。（1か所については滞水量が少量であることおよび他箇所の確認結果により切開による確認は不要と判断した） この結果、上層遮水シートと下層遮水シート間のみの滞水であることおよび下層遮水シートより下部には異常がないことが確認された。
平成21年5月27日	平成21年6月16日	遮水工	遮光性不織布接合部の剥がれが確認された。	予備の遮光性不織布及びトーチを使用し、熱溶着にて補修した。
平成21年6月1日	平成21年6月16日	遮水工	遮光性不織布に引っ掻き傷が確認された。	トーチを使用し、熱溶着にて補修した。
平成21年6月4日	平成21年6月16日	遮水工	遮光性不織布に引っ張り傷あり。	予備の遮光性不織布及びトーチを使用し、熱溶着にて補修した。
平成21年6月8日	平成21年6月16日	遮水工	遮光性不織布に穴空きが確認された。	予備の遮光性不織布及びトーチを使用し、熱溶着にて補修した。
平成21年6月15日	平成21年6月16日	遮水工	引っ張りにより遮光性不織布の溶着が剥がれ、上層シートが露出している。	予備の遮光性不織布及びトーチを使用し、熱溶着にて補修した。